

第5章 地域公共交通を取り巻く課題の整理

前述した現況整理及び各種調査を踏まえて、本市の地域公共交通を取り巻く課題を整理します。

現状・ニーズ

第2章 玉名市の現状	第3章 地域公共交通の現状	第4章 市民及び利用者の移動ニーズ
● 人口減少、高齢化、少子化の進行 ● 通勤は流出超過 ● 通学は流入超過	● 乗合タクシー運行区域の拡大	● 外出時に交通手段がなくて困る方は14.3% ● 乗合タクシー利用では、運行区域、運行便数に不満が多い ● 市民の約3割が地域公共交通に不満 ● 新玉名駅は通勤・観光、在来線3駅は通学の利用が多い ● 鉄道利用者の不満は、運行本数 ● 一部の路線バスでは、利用が少ない ● 路線バスでは、通勤・通学での利用が多い ● 乗合タクシーの利用目的は、通院が約5割 ● 乗合タクシーの利用者は、運行時間帯に不満が多い
● 自家用車への依存度が高い	● 玉名駅利用者が多い ● 新玉名駅利用者が少ない	● 自家用車への依存が高い ● 運転免許証の保有率が高い ● 乗合タクシーを知らない人が約4割 ● 市民の約7割が地域公共交通の必要性を認識 ● 鉄道利用では、駐車場、運行本数、乗り継ぎに不満が多い ● 路線バス利用では、運行本数、待合空間、運行時間帯に不満が多い ● 一般タクシー利用では、運賃に不満が多い ● 新玉名駅利用者が少ない
● 市街地への人口集中 ● 中心市街地と各支所周辺に主要施設が立地	● 地域公共交通手段が豊富 ● 新型コロナウイルス感染拡大の影響による路線バス利用者の減少 ● 新型コロナウイルス感染拡大の影響による一般タクシー利用者の減少 ● 実質財政負担額の増加 ● 移動支援事業の実施 ● 福祉バス利用者の減少	● 路線バスの乗務員不足 ● 一般・乗合タクシーの乗務員不足 ● 他分野との連携、MaaS等の取組

課題の整理

3つの課題	詳細内容
<課題1> 通学や通勤、通院等の 様々なニーズ・生活場面に 対応する、移動手段や 交通ネットワークの確保	本市は、人口減少が進み、少子化・高齢化の更なる進行が予測される中、外出時に移動手段が無くて困る人が1割超となっており、市民全体の約3割が公共交通に不満を感じています。鉄道の在来線・路線バスでは通学利用、乗合タクシーは通院利用が多い中で、鉄道の運行本数や乗合タクシーの運行区域や便数、運行本数についての不満がみられます。 また、一部の路線バスでは利用者数に偏りがあり、高齢者や若年層の移動手段を確保するためには、更なる利用時間帯等のニーズへの対応や鉄道駅等からの移動の円滑化等、ニーズに合わせた移動手段の確保が課題となっています。
<課題2> 既存公共交通の利用促進、 利便性向上、認知度向上	本市は、自家用車への依存度や免許の保有率が高い中で、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、公共交通利用者は近年減少しています。鉄道利用においては駅によって利用者数に偏りがあり、鉄道駅での乗り継ぎや、バスの待合環境に不満が見られます。また、約7割の市民は公共交通の必要性を感じているものの、乗合タクシーを知らない市民が約4割となっています。 加えて、玉名駅周辺における乗継利便性や待合環境の改善、交通結節点※として異なる交通手段における相互連携等、地域公共交通の利便性向上が課題となっています。
<課題3> 多様な関係者や他分野との 連携等による、効果的な 取組の推進	本市は、中心市街地に人口が集中しており、中心市街地と各支所周辺に主要な施設が立地しています。また、新幹線駅や路線バス、乗合タクシー等の多様な地域公共交通手段を有しています。 また、移動支援事業の実施や福祉バスの運行等を行っていますが、地域公共交通サービスの維持のための市の財政負担は増加しているほか、路線バス・タクシー事業者の乗務員不足も問題となっています。 今後も地域公共交通を維持していくために、多様な関係者や他分野等との連携や、MaaS等の新たな技術の活用研究、情報収集を進める必要があります。